

桑原地区転作促進研修センターの耐震診断結果

千曲市経済部農林課

建築物の耐震性能は構造耐震指標(Is値)により、表1のように分類されます。Is値は数値が大きいほど耐震性が高い建物となります。一般的には、震度6強～7の大地震発生時に安全であるとされているのがIs値0.6以上の建物です。

桑原地区転作促進研修センターは避難所に指定されていることから補強後のIs値を0.75以上と設定し、工法を検討します。

表1 耐震性の判定

Is値 < 0.3	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩落する危険性が高い
0.3 ≤ Is値 < 0.6	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩落する危険性がある
0.6 ≤ Is値	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩落する危険性が低い

表2 耐震診断結果Is値一覧

施設名称 建築年	延べ床面積 階数	構造種別	階	Is値(構造耐震指標)	
				X方向(東西方向の振動)	Y方向(南北方向の振動)
桑原地区転作促進研修センター 昭和55年	342.63m ² 2階建て	鉄骨造	2階	0.21	0.21
			1階	0.27	0.33